



受賞を報告する前田校長(左)と末広会の増田会長(中央)ら

**地域の伝統と文化を子どもたちに**

■平成23年度全日本学校関係緑化コンクール受賞報告/地頭方小、末広会

平成23年度全日本学校関係緑化コンクールで表彰を受けた地頭方小と地元のボランティア団体「末広会」が、6月15日、市役所相良庁舎を訪れ、市長に喜びの報告をしました。

同コンクールは、青少年の緑化活動と学校での緑化教育をより推進するために実施されているもの。学校環境緑化の部において、地頭方小は国土緑化推進機構理事長賞を、同校の総合的な学習「田んぼの学校」などを支援する同会は、協力者賞を受賞しました。

**満開の花に笑顔も満開**

■秋葉公園あじさい鑑賞/静波保育園

静波保育園の4・5歳児70人は6月13日、秋葉公園にあじさい鑑賞に訪れました。

秋葉公園には、8種類約4000株のあじさいが群生。梅雨時期の5月下旬から6月下旬にかけて、色とりどりの花を咲かせ、来場者を楽しませます。期間中、夜間のライトアップも行われています。

梅雨の晴れ間となった同日、園児らは満開となったあじさいを眺め、「いろいろな色がたくさんあってきれい」「花が大きい」と歓声を上げて、鑑賞を楽しんでいました。



色とりどりのあじさいを眺める園児ら

**将来のまちの姿を想像して**

■牧之原市の未来を語ろう

市は6月23日、市役所榛原庁舎で榛原・相良高校生が市の未来について語り合う、「牧之原市の未来を語ろう」を開催しました。

市の将来を担う若者の声を聞き、まちづくりに生かすよう初めて開催したもの。43人の高校生は、8つのグループに分かれ、「市の好きなところ、気になるところ」「こんなまちにしたい」「実現のために私たちに何ができるか」について、ワークショップ形式で意見を交わし、さまざまなアイデアを提案しました。



自分の意見を書き出し、グループで意見交換する高校生ら



式典で就航を祝い、テープカットをする関係者

**三国志ゆかりの地へ**

■上海線の武漢延伸に伴う出発式

上海線が武漢まで延伸されたことを記念し、出発式が6月18日、富士山静岡空港国際線出発ゲートで開かれました。

式典には、中国東方航空東京支社長や森山県副知事など関係者が出席。支社長や副知事のお祝いのあいさつの後、機長と搭乗客代表へ記念の花束贈呈が行われ、関係者の代表がテープカットをして就航を祝いました。同線は、週4便(月、水、金、日)の運航で、武漢から中国各地や世界各地へ行くことができます。



模擬結婚式にて、大勢の参列者の前でケーキ入刀する新郎新婦役の参加者

**地域福祉の発展のために**

■第30回施設招待御食事会

株式会社うおともが主催する、第30回施設招待御食事会が6月12日、地頭方のマイハートうおともで開かれました。

入所者同士の交流、地域福祉の向上のために同社が年に1回、市内などの障がい者や高齢者の福祉施設の入所者などを無料で招待し、食事を実施しているもので、昭和59年の開業以来、30回目の開催となりました。

約30人の同社の従業員は各施設への送迎や接客に加えて、着ぐるみを着てダンスで参加者を盛り上げるなど、本格的なサービスでおもてなし。8施設から235人が参加し、参加者は歌や踊りの各施設の催し物を見ながら食事をしたり、模擬結婚式を体験したりしました。

**35年ぶりに献上 豊作願う**

■牧之原市新嘗祭献穀御田植式

新嘗祭献穀御田植式が6月9日、勝間の水田で執り行なわれました。

毎年11月に皇居で催される収穫祭である新嘗祭に献上する米の苗を植えたもので、献穀者の櫻井賢一郎さん夫妻や西原市長、ハイナン農業協同組合関係者ら約100人が参加しました。

市内での献納は昭和52年に旧榛原町で行われて以来、35年ぶり。神事後、櫻井さんら関係者が早乙女に扮した勝間田小の児童7人と共に、青々とした苗を丁寧に植え、豊作を願いました。



早乙女役の子どもたちと田植えをする櫻井さん



更生保護分野での功績により藍綬褒章を受章した小林さん

**安全安心な社会の実現に貢献**

■平成24年春の褒章

このほど春の褒章が授与され、市内で小林正徳さん(74歳、細江)が藍綬褒章を受章されました。

小林さんは、昭和63年から保護司を務め、犯罪や非行に陥った人の社会復帰や自立を助けてこられました。受章について、「更生保護に対する認識向上のきっかけや、携わる人たちの励みになれば」と話し、「これからも、市民や地域と連携した更生保護活動や青少年などの健全育成に取り組み、犯罪のない安全安心な社会の実現に貢献していきたい」と語ってくれました。



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎(23) 0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp